

塚本虎一 とらもと キリスト教聖書學者。明治十八年八月一日福岡縣生れ、昭和四十八年九月九日歿（一八八一—一九七三）。第一高等學校を経て、東京帝國大學法科大學卒。在學中内村鑑三主宰の聖書研究會に入席。明治四十四年農商務省入省、大正八年辭職して聖書研究に専念。十年英新學者齋藤秀二郎の次女園子と結婚し、關東大震災で亡く。昭和五年雜誌『聖書知識』創刊、その後『基督教愛國』、『舊約知識』、『新約知識』等を發刊。内村後の無教會派を代表する人物。新約聖書の口語譯がある。

『聖書とその周辺—塚本虎一先生信仰五十年記念論文集』（関根正雄・前田護郎・斎藤茂編、昭和二十四年二月一日伊藤節書房）、『歴史の中の塚本虎一先生—十周年記念講演』（昭和五十八年十一月二十五日塚本虎一記念講演会事務局）等刊。

